

市区町村の現状と課題から

枚方市家庭児童相談所 八木

1. 体制と専門性

- ・ 市区町村によるバラツキ。
- ・ 児童虐待対応の専任職員。
- ・ 正規職員のジョブローテーションと人事異動。
- ・ 専門職の非常勤職員。

→ 専任職員の配置と財政的課題。人事異動に対する検討。研修の義務化。

2. 支援状況

- ・ 市区町村における支援方法。
- ・ 家庭支援の資源（子育て支援や障害福祉などのサービスなど）のバラツキ。
- ・ 虐待の9割にあたる在宅支援の幅の広さと多様性。
- ・ 拒否的な家庭への支援の限界。
- ・ 法的権限のある児童相談所との協働対応

→ 在宅支援に関する研究・調査・開発。役割分担と協働対応。

3. 要保護児童対策地域協議会

- ・ 地域ネットワークの強化と信頼関係。
- ・ 調整機関の人事異動。
- ・ 進行管理件数の増加
- ・ 進行管理と支援のバランス。
- ・ 複層的な会議の工夫。
- ・ 家族再統合のネットワーク支援と個別ケース検討会議。

4. 通告・初期対応

- ・ 子どもの所属機関から、庁内関係機関からの通告・相談
- ・ 虐待通告への意識

→ 大切な情報を通告として